９月の技術対策（水稲）

平成１６年９月１日

ＪＡきたそらち・ＪＡ北いぶき
空知北部地区農業改良普及ｾﾝﾀｰ
雨竜西部地区農業改良普及ｾﾝﾀｰ

１　生育状況

表１　８月15日現在の生育状況（空知北部・雨竜西部普及センター定期調査ほ場）

［空知北部］

品種名	年次	稈長(cm)	穂長(cm)	㎡穂数(本/㎡)	出穂 始	出穂 期	出穂 揃	穂揃い日数	成熟期
きらら３９７	H16年	60	16.5	538	7/22	7/24	7/28	6	
	平年	63	17.2	615	7/25	7/28	8/1	7	9/14
ほしのゆめ	H16年	65	15.7	607	7/20	7/23	7/27	7	
	平年	68	16.2	623	7/23	7/26	7/30	7	9/11

［雨竜西部］

品種名	年次	稈長(cm)	穂長(cm)	㎡穂数(本/㎡)	出穂 始	出穂 期	出穂 揃	穂揃い日数	成熟期
きらら３９７	H16年	62	16.4	592	7/24	7/27	8/1	8	
	平年	63	16.6	591	7/27	7/30	8/4	8	9/19
ほしのゆめ	H16年	65	15.1	678	7/23	7/26	8/1	9	
	平年	67	15.6	647	7/25	7/28	8/3	9	9/16

（１）　出穂期は、空知北部地区内で3～4日、雨竜西部地区内で2～3日程度早まりました。出穂期間は好天に経過したので、穂揃いも平年並みに良好でした。

（２）　稈長・穂長はやや短い傾向にあります。穂数は空知北部地区内では平年より少なく、雨竜西部地区内ではきらら３９７は平年並み、ほしのゆめは並～やや多くなっています。

（３）　出穂揃後も高温に経過しているため登熟は進み、近年になく成熟期が早まりそうです。ただし、登熟前半の最高気温および最低気温が高かったので、干ばつ傾向の水田では腹白・乳白粒の発生が懸念されます。

２　適期収穫

（１）　出穂期後の積算気温から予測される成熟期は表２のとおりです。出穂期間中より高温が続いているので平年よりも大幅に早まり、９月上旬に成熟期に達するほ場も多いでしょう。

（２）　刈り取り適期の判定

成熟期間近になったら、必ず玄米による刈り取り適期の判定を行いましょう。判定手順は図１のとおりです。

ア　整粒歩合は、１日当たり2～3%程度づつ高くなります。

刈り取り適期の算出方法
目標整粒歩合(90%以上) － ｻﾝﾌﾟﾙの整粒歩合 ÷ 2.5 ＋ ｻﾝﾌﾟﾙ刈り取り日

イ　サビ・茶米がある場合は増加程度を勘案して整粒歩合の目標を決めます。

ウ　ほ場毎に刈り取り適期を判定し、収穫計画を立てておきましょう。また、サビ米・茶米の多いほ場、倒伏したほ場は別刈りとして下さい。

表２　出穂期後の積算気温による成熟期予測

出穂期		ｱﾒﾀﾞｽ地点	7月21日	7月23日	7月25日	7月27日	7月29日	7月31日
積算気温	出穂期後40日間(℃)	深川	873℃	873.1℃	860.7℃	850.4℃	838.4℃	820.3℃
		沼田	867℃	864℃	851℃	840℃	827℃	809℃
	950℃到達日	深川	9月3日	9月6日	9月8日	9月11日	9月14日	9月17日
		沼田	9月4日	9月6日	9月9日	9月12日	9月15日	9月19日
	1000℃到達日	深川	9月6日	9月8日	9月11日	9月14日	9月17日	9月21日
		沼田	9月7日	9月9日	9月12日	9月15日	9月18日	9月22日
成熟期予測		深川	9月3日～9月6日	9月6日～9月8日	9月8日～9月11日	9月11日～9月14日	9月14日～9月17日	9月17日～9月21日
		沼田	9月4日～9月7日	9月6日～9月9日	9月9日～9月12日	9月12日～9月15日	9月15日～9月18日	9月19日～9月22日

注）①８月２０日以降は平年値で計算。
②成熟期に達するまでの積算気温は９５０℃～１０００℃が目安。
③出穂の早い高温年は９５０℃に達する前に成熟期となる場合もある。

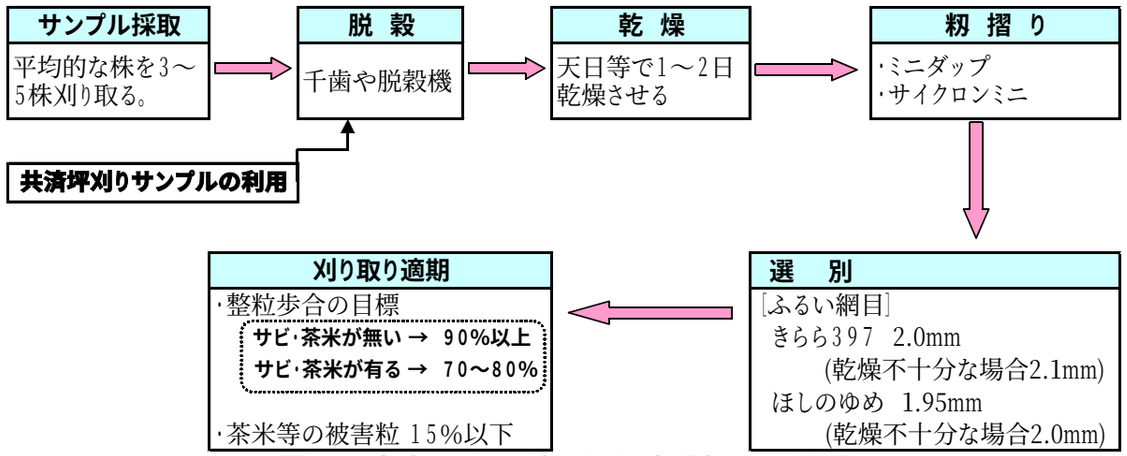

図１　玄米による刈り取り適期判定の手順

３　乾燥・調製

（１）　急激な高温乾燥を避け、毎時乾減率0.8%以下で乾燥しましょう。また、仕上げ水分の均一化と乾燥処理能力向上のためにも二段乾燥方式(水分17～18%で一時貯留)を実施しましょう。

（２）　肌ずれ防止のため、籾摺りは穀温が十分下がってから(外気温と同じ)行って下さい。

（３）　調製ふるい目は、「きらら３９７」2.0㎜、「ほしのゆめ」「ななつぼし」1.95㎜を基本としますが、必ず下見検査を受けてから調製を行って下さい。